2025 年度　前期

# 留学生教育・支援センター

# 日本語プログラム「中級Ⅱ」シラバス


| Subject | Day・Period | Teacher | Page |
|---|---|---|---|
| 中級Ⅱ　会話 | 木 1 | 古本 | … 1 |
| 中級Ⅱ　作文 | 月 2 | 夛田 | … 2 |
| 中級Ⅱ　読解 | 火 3・4 | 日暮 | … 3 |
| 中級Ⅱ　聴解 | 木 2 | 小谷 | … 4 |
| 中級Ⅱ　漢字 | 月 4 | 郭 | … 5 |

| 2025 年度 前期 | 曜日・校時 | 木曜日・1 校時 | コマ数 | 1 コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅱ会話 | | | |
| 担当教員名 | 古本 裕美 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | (1) 日常生活に関連する話題および身近で個人的に関心がある事について，楽に自信をもって積極的に話すことができる。(2) 予期しなかった状況や物語の内容などについて詳細に説明することができる。(3) カジュアルに話すためのルールを知り，それを使いながら日本語の雑談が友達とできる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

前半は，ロールプレイなどをとおしてその場面に必要な表現を練習します。後半は，カジュアルな日本語で友だちと会話ができるようになるための練習をします。また，「分かっているけど間違える」ということを少なくし，スムーズに会話のやりとりをする力をつけるためにシャドーイングの練習もします。

| | | |
|---|---|---|
| 第 1 週 | 4/10 | オリエンテーション |
| 第 2 週 | 4/17 | きっかけについて分かりやすく説明する |
| 第 3 週 | 4/24 | 人の外見や物について詳しく描写する (1) |
| 第 4 週 | 5/8 | 人の外見や物について詳しく描写する (2)，シャドーイングテスト (1) |
| 第 5 週 | 5/15 | ハプニングについて詳しく説明する (1) |
| 第 6 週 | 5/22 | ハプニングについて詳しく説明する (2) |
| 第 7 週 | 5/29 | ドラマ，映画，小説等の内容について詳しく説明する (1) |
| 第 8 週 | 6/5 | ドラマ，映画，小説等の内容について詳しく説明する (2)，シャドーイングテスト (2) |
| 第 9 週 | 6/12 | 社会的な話題を論理的に説明する (1) |
| 第 10 週 | 6/19 | 社会的な話題を論理的に説明する (2) |
| 第 11 週 | 6/26 | 雑談：カジュアルに話す (1) |
| 第 12 週 | 7/3 | 雑談：カジュアルに話す (2)，シャドーイングテスト (3) |
| 第 13 週 | 7/10 | 〃：カジュアルに話す (3)，話し相手に共感を示しながら話す |
| 第 14 週 | 7/17 | 〃：不安や不満に思っていることを共有しながら話す |
| 第 15 週 | 7/24 | 〃：話す話題が見つからないときに対処する |
| 第 16 週 | TBA | 口頭試験，シャドーイングテスト (4) |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 配付資料 |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) Voicethread を使った独話練習（宿題）：15%　(2) シャドーイング（宿題・練習・テスト）：25%<br>(3) 授業での積極的な学習態度：45%　(4) 口頭試験：15%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の 90%となる。 |

| 2025 年度 前期 | 曜日・校時 | 金曜日 1 校時 | コマ数 | 1 コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅱ作文 | | | |
| 担当教員名 | 夛田 美有紀 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 大学で必要とされる学術的な文章が書けるようになる。そして、学術的な文章を書くために必要な、文章の構成が考えられるようになる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

予定は学習の進み具合に応じて変わります。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第 1 週 | 4/11 | オリエンテーション、第 1 課 | 宿題：ふつう体でレポートの書式で書く |
| 第 2 週 | 4/18 | 第 2 課 Step1 | 宿題：500 字程度で書いてみよう（p.29） |
| 第 3 週 | 4/25 | 第 2 課 Step2 | 宿題：800 字程度で書いてみよう（p.35） |
| 第 4 週 | 5/9 | 第 2 課 Step3 | 宿題：1000 字程度で書いてみよう（p.42） |
| 第 5 週 | 5/16 | 第 3 課 Step1 | 宿題：600 字程度で書いてみよう（p.49） |
| 第 6 週 | 5/23 | 第 3 課 Step2 | 宿題：800 字程度で書いてみよう（p.57） |
| 第 7 週 | 5/30 | 第 4 課 Step1 | 宿題：600 字程度で書いてみよう（p.73） |
| 第 8 週 | 6/6 | 第 4 課 Step2 | 宿題：800 字程度で書いてみよう（p.79） |
| 第 9 週 | 6/13 | 第 4 課 Step3 | 宿題：1000 字程度で書いてみよう（p.87） |
| 第 10 週 | 6/20 | 第 5 課 Step1 | 宿題：800 字程度で書いてみよう（p.95） |
| 第 11 週 | 6/27 | 第 5 課 Step2 | 宿題：1000 字程度で書いてみよう（p.103） |
| 第 12 週 | 7/4 | 第 6 課 Step1 | 宿題：800 字程度で書いてみよう（p.125） |
| 第 13 週 | 7/11 | 第 6 課 Step2 | 宿題：400 字程度で書いてみよう（p.133） |
| 第 14 週 | 7/18 | 第 7 課 1～3 | 宿題：最終レポートのテーマと構成を書く（p.146, 147） |
| 第 15 週 | 7/25 | 第 7 課 3～4 | 宿題：1000 字程度で最終レポートを書いてみよう |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『日本語を学ぶ人のための アカデミック・ライティング講座』 伊集院郁子・髙野愛子 著、アスク出版 |
| 成績評価の方法・基準等 | 出席・授業態度 10%、作文の宿題 13 回×5%=65%、最終レポートのメモ 5%、最終レポート 20%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。<br>宿題は締め切りを過ぎたら提出できません。また、作文を書く時に言葉や表現を辞書で言葉を調べてもいいですが、ChatGPT などの翻訳ツールで文章を作った場合は 0 点にします。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の 90%となる。 |

| 2025 年度 前期 | 曜日・校時 | 火曜日3・4校時 | コマ数 | 2 コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅱ読解 | | | |
| 担当教員名 | 日暮 康晴 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | ① 日本語の文章（日本語能力試験 N2 程度）を読んで、論点や論理展開が把握できる<br>② 日本語の文章（日本語能力試験 N2 程度）を読んで、筆者の主張や意図が把握できる | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

| | | 1 限目 | 2 限目 |
|---|---|---|---|
| 第 1 週 | 4/8 | オリエンテーション | オリエンテーション |
| 第 2 週 | 4/15 | 第 1 課 | 第 1 課 |
| 第 3 週 | 4/22 | 第 2 課 | 第 2 課 |
| 第 4 週 | 5/13 | 第 3 課 | 第 3 課 |
| 第 5 週 | 5/20 | 第 4 課 | 第 4 課 |
| 第 6 週 | 5/27 | 実力チェック① | 実力チェック①（解説） |
| 第 7 週 | 6/3 | 第 5 課 | 第 5 課 |
| 第 8 週 | 6/10 | 第 6 課 | 第 6 課 |
| 第 9 週 | 6/17 | 第 7 課 | 第 7 課 |
| 第 10 週 | 6/24 | 第 8 課 | 第 8 課 |
| 第 11 週 | 7/1 | 実力チェック② | 実力チェック②（解説） |
| 第 12 週 | 7/8 | 第 9 課 | 第 9 課 |
| 第 13 週 | 7/15 | 第 10 課 | 第 10 課 |
| 第 14 週 | 7/22 | 第 11 課 | 第 11 課 |
| 第 15 週 | 7/29 | 実力チェック③ | 実力チェック③（解説） |
| 第 16 週 | 8/5 | テスト | テスト |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 奥田純子編集『読む力 中級』くろしお出版 ISBN:978-4-87424-518-7 |
| 成績評価の方法・基準等 | テスト：40%、実力チェック：20%、授業への参加度：20%、宿題：20%<br>〈注意〉：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243 （E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の 90%となる。 |

| 2025 年度 前期 | 曜日・校時 | 木曜日・2 校時 | コマ数 | 1 コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅱ聴解 | | | |
| 担当教員名 | 小谷 裕子 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 日本の生活や文化を知ることができる話題の会話を当事者に「なりきって」聞くことで、能動的な聞く力を身につける。「聞く力」と同時に「聞き返す力」を伸ばすことで、コミュニケーション能力を高める。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

「傍聴型」ではなく、「参加型」の聴解クラスなので、積極的に発言することが求められる。毎回リスニングの課題を課し、翌週課題テストを実施する。

| | | |
|---|---|---|
| 第 1 週 | 4/10 | オリエンテーション / ユニット1 はじまりは桜から |
| 第 2 週 | 4/17 | ユニット2 食べる楽しみ |
| 第 3 週 | 4/24 | （応用1）食生活 |
| 第 4 週 | 5/8 | 第 1 週 |
| 第 5 週 | 5/15 | ユニット4 結婚のお祝い |
| 第 6 週 | 5/22 | （応用2）結婚 |
| 第 7 週 | 5/29 | ユニット5 買う楽しみ |
| 第 8 週 | 6/5 | ユニット 6 旅する楽しみ |
| 第 9 週 | 6/12 | （応用3）旅行 |
| 第 10 週 | 6/19 | ユニット7 会社の話を聞く |
| 第 11 週 | 6/26 | ユニット8 恋の話 |
| 第 12 週 | 7/3 | （応用4）就職活動 |
| 第 13 週 | 7/10 | ユニット 9 笑う楽しみ |
| 第 14 週 | 7/17 | ユニット10 落語家にインタビュー |
| 第 15 週 | 7/24 | （応用5）総まとめ |
| 第 16 週 | 7/31 | 期末試験 |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 「中級から上級への 日本語なりきりリスニング」 ジャパンタイムズ出版 |
| 成績評価の方法・基準等 | 授業への参加度 10%、態度 10%、課題テスト 40%、期末試験 40%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243 （E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の 90%となる。 |

| 2025 年度 前期 | 曜日・校時 | 月曜日 4 校時 | コマ数 | 1 コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅱ漢字 | | | |
| 担当教員名 | 郭 昱昕（GUO YUXIN） | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | （1）教科書に沿って、今まで勉強した漢字を復習・整理し、正確に使えるようになる。<br>（2）新しい漢字の読み方や意味を理解し、場面や文脈に沿った適切な漢字語彙が使えるようになる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

教科書の各課の最初にある「覚える」の漢字を予習し、各自で課題を完成してから授業を受けてください。授業では、色々な活動とタスクを通じて、漢字の読み方、意味、使い方を確認した後、似ていることばや間違いやすいことばの使い分けを議論しながら、確認していきます。

| | | |
|---|---|---|
| 第 1 週 | 4 月 7 日 | オリエンテーション（授業の進め方と課題のやり方の説明、漢字学習の現状の確認） |
| 第 2 週 | 4 月 14 日 | 確認小テスト①　第 1 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 3 週 | 4 月 21 日 | 確認小テスト②　第 2 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 4 週 | 4 月 28 日 | 確認小テスト③　第 3 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 5 週 | 5 月 12 日 | 確認小テスト④　第 4 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 6 週 | 5 月 19 日 | 確認小テスト⑤　第 5 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 7 週 | 5 月 26 日 | 確認小テスト⑥　第 6 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 8 週 | 6 月 2 日 | 中間試験 |
| 第 9 週 | 6 月 9 日 | 確認小テスト⑦　第 7 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 10 週 | 6 月 16 日 | 確認小テスト⑧　第 8 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 11 週 | 6 月 23 日 | 確認小テスト⑨　第 9 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 12 週 | 6 月 30 日 | 確認小テスト⑩　第 10 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 13 週 | 7 月 7 日 | 確認小テスト⑪　第 11 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 14 週 | 7 月 14 日 | 確認小テスト⑫　第 12 課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第 15 週 | 7 月 28 日 | 復習＆まとめ |
| 第 16 週 | 8 月 4 日 | 期末試験 |

＊上記の授業計画は、授業の進度や学生の学習状況に応じて変更する場合があります。

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙　上級編』八木真生他著、ココ出版 |
| 成績評価の方法・基準等 | （1） 授業への参加度（出席・授業態度）：30%　（2）日常課題・確認小テスト：30%<br>（3）中間試験+期末試験：40%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の 90%となる。 |